

専門学校 久留米リハビリテーション学院 授業評価 —令和3年度の結果—

本学院では、授業の質の向上を念頭におき、「学生の授業満足度の把握と教員の研鑽」を目的として、専任教員の担当科目を対象に平成18年度より授業評価を開始、平成20年度より本格的にアンケート結果の分析を進めてきた。これを実施することにより、各教員が担当している科目の授業内容を振り返り、次期あるいは次年度に活用することで授業の質の向上を目指した。しかし、授業アンケートを進めていく中で、このアンケート結果を個々教員の授業改善だけでなく全教員がある一定の教授力を持てるように活用することで教育の質の担保ができないかと考え、平成23年度に授業アンケートのリニューアルを実施し、久留米リハビリテーション学院の授業における教員の取り組みや学生の満足度を広く公開することとした。

【学生による授業評価】

1. 評価項目

授業評価項目は、授業に関する一般事項を大項目とした。大項目および細項目ともに、平成22年度までの授業アンケートから評価内容や項目数の見直しを行った。大項目および細項目については、以下に示す。

(1) 授業構成

- ① シラバスの教育目標は明確に提示していた。
- ② シラバスの教育目標は達成された。
- ③ 授業内容を理解するにあたり適切に教科書及び講義資料の提示が行われた。
- ④ 授業内容を理解するにあたり適切な時間配分をもって行われた。

(2) 教員の授業の進め方

- ① 話し方は、明瞭で聞き取りやすかった。
- ② 重要なポイントを明確に示し、理解度を深めるための配慮を行っていた。

(3) 教員の伝え方

- ① 適切な授業環境を保つことに努め、効果的に学生の参加(発言等)を促した。
- ② 適切な助言を与えてくれた。
- ③ 実習や国家試験に活かせる知識・技術を習得することができた。

(4) 教員の関わり方

- ① 授業に対する熱意を感じた。

(5) 学生の授業へのモチベーション

- ① 授業中は、集中して教員の話や説明を聞いた。
- ② 授業に意欲的に取り組んだ。

2. 評価の方法および集計方法

平成22年度までの授業アンケートにおいては、評価項目に対し「強くそう思う」「そう思う」「そう思わない」「強くそう思わない」の4つの選択肢のうち該当するもの一つを選択してもらい、どの選択肢にも該当しない項目については「無回答」としていたが、項目を見直し「強くそう思う」「そう思う」「どちらとも言えない」「そう思わない」「まったく思わない」の5つの選択肢に変更した。回答対象者のうちアンケート

実施日に欠席した学生を「無回答」とした。また、感想・意見・希望などについては、前回のアンケートから変更せず自由に記載してもらった。

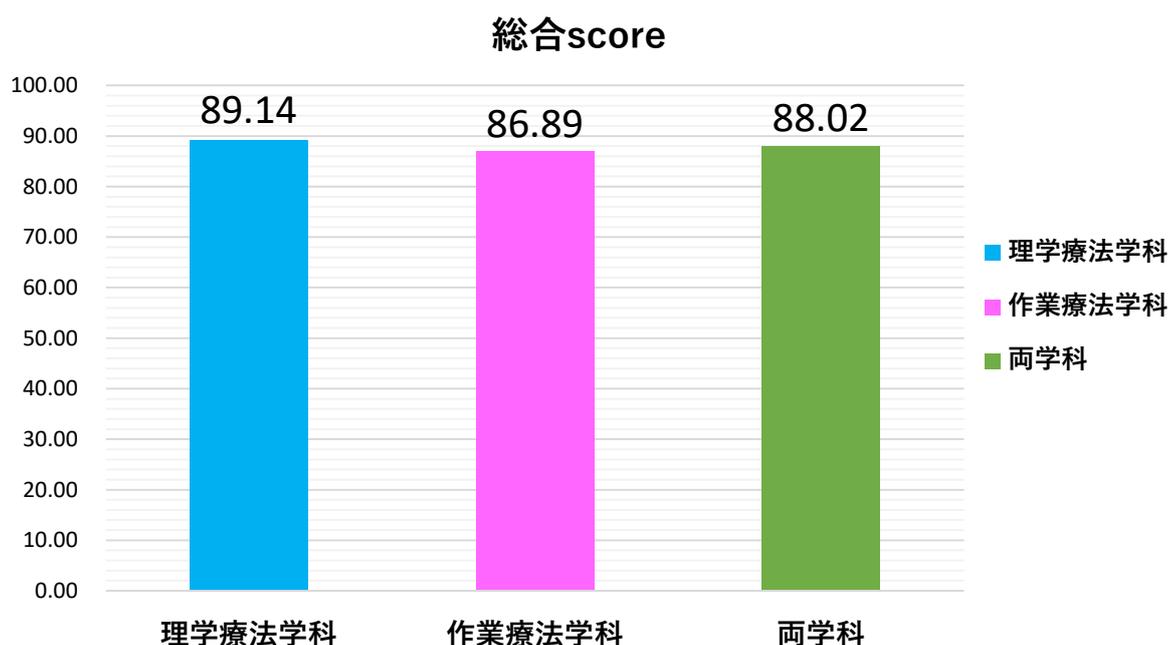
集計方法については、各選択肢を以下のように点数化し、各項目についてすべてが「強くそう思う」だった場合を満点として 100 点満点換算し、その割合を大項目ごとにグラフ化した。

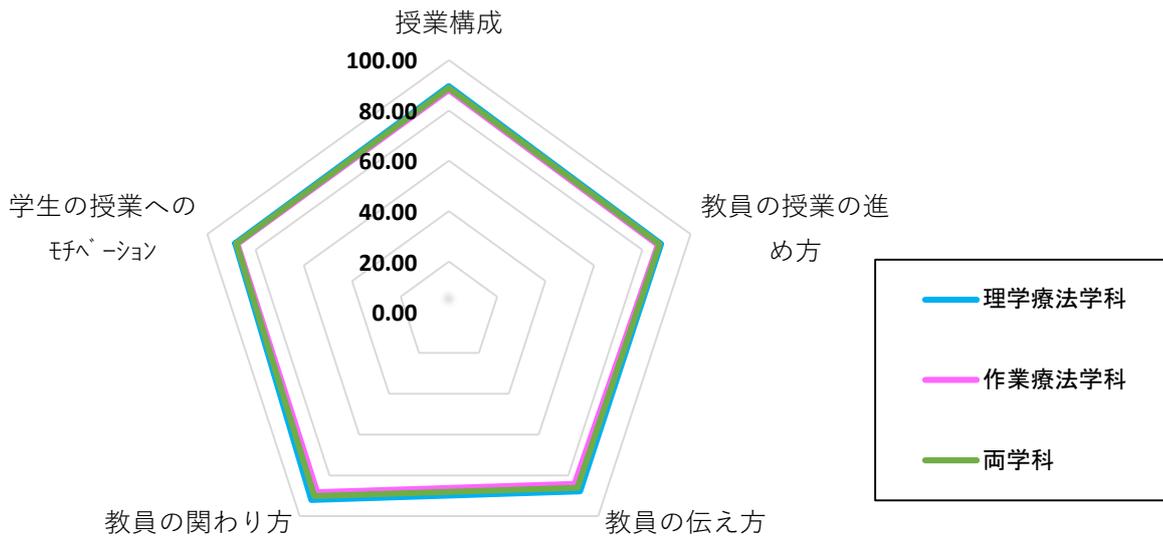
- 「強くそう思う」 : 5 点
- 「そう思う」 : 4 点
- 「どちらとも言えない」 : 3 点
- 「そう思わない」 : 2 点
- 「まったく思わない」 : 1 点
- 「無回答」 : 0 点

3. 結果

集計結果については、以下のような結果となった。

	理学療法学科	作業療法学科	両学科
授業構成	89.06	88.14	88.87
教員の授業の進め方	87.78	86.40	87.09
教員の伝え方	87.86	84.18	86.02
教員の関わり方	92.07	88.23	90.15
学生の授業への参加	88.39	87.50	87.95
総合 score	89.14	86.89	88.02





	理学療法学科			作業療法学科			両学科		
	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
授業構成		90.55	89.60		85.46	88.14		88.01	88.87
教員の授業の進め方	86.34	89.48	87.78	87.54	84.22	86.40	86.94	86.85	87.09
教員の伝え方	85.63	88.70	87.86	88.53	82.92	84.18	87.08	85.81	86.02
教員の関わり方	88.83	91.25	92.07	88.83	85.57	88.23	88.83	88.41	90.15
パソコンや教材の活用	88.02			88.00			88.01		
学生の授業へのモチベーション	86.40	83.93	88.39	87.98	78.48	87.50	87.19	81.21	87.95
総合scora	87.04	88.78	89.14	88.18	83.33	86.89	87.61	86.06	88.02

(学生による自由記載欄のコメント)

科目	代表的なコメント
運動系統学 (PT・OT)	授業スライドとは別に授業プリントを用いて取り組んだことで、他の教科よりも内容が多いこの教科をしっかりと理解することができた。結果もついてきてとても楽しい授業ができ、以前と比べて苦手意識もなくなりました。図を使ったプリントを活用して授業を進めていたので理解しやすかった。確認の時間を設けたり、前回の復習時間を設けて授業を進行して下さったため、内容をしっかりとアウトプットし、知識の定着ができた。テストで出るところだけでなく、出ないところでも臨床で使うからと予備知識まで教えて下さったので良かったし、理解がよりしやすかった。分からないときなど分かるまで熱心に教えていただきとても勉強が楽しくなり、理解も深まりました。グループで確認する時間があつたおかげでその時に理解できてよかったです。

<p>臓器系統学 (PT・OT)</p>	<p>その都度大事なポイントの説明があり、家で個人学習しやすかった。進んでいくごとにグループでの確認時間があったのが確実に理解していけるので良かったと思う。質問をした時も、先生が話していたことから+αの部分を教えてもらったので、より理解が深まった。分かりやすい例を挙げてくださるのはとても良かったです。</p>
<p>神経系統学 (PT・OT)</p>	<p>大切なところは何回も説明してくださっていて、前の授業とつなげての説明でわかりやすい授業でした。単語で覚えるのではなく説明できるようになることの大切さを理解できました。とても聞き取りやすい話し方でした。授業のスピードがちょうどよかったです。分かりやすく説明されて確認の時間を頂いたため、授業の中でほぼ理解することができました。必要なポイントや国試との関連性などが明確であったので取り組みやすかった。全ての説明が明確であり、分かりやすかった。丁寧な説明と模型を使つての解説がとても分かりやすかったです。</p>
<p>リハビリテーション 概論 (PT・OT)</p>	<p>実際の例などを交えながらだったので理解しやすかった。臨床の話などを活用してわかりやすく教えてもらった。概論で分かりにくい内容だったけど、ポイントをまとめて分かりやすくされていました。とてもスライドが見やすかったです。制度などは難しいですが、大事なところや特徴などを教えて下さったので、授業の中で理解することができました。大事なところをいろいろな知識と組み合わせて教えてもらえることがよかったです。</p>
<p>理学療法概論 (PT)</p>	<p>質問の際や、わからない部分があった際に的確に説明してもらったので分かりやすかったです。スライドが見やすくてとても分かりやすかったです。学習のやり方なども本を紹介して教えていただき学習の仕方を見直すきっかけになりました。グループで考える機会があることで理解しやすくなった。</p>
<p>運動器障害理学療 法学 (PT)</p>	<p>非常に明るい雰囲気です話す機会も多かったこともあり、インプットが非常に効率的だと感じた。授業が分かりやすくペース配分もよかったです。理解するための時間を取ってくださったり、休憩を少し入れられたりするので継続して集中することができ、一限分の授業が進むのがとても早く感じます。何故そのような理屈になるのかもしっかり話してくれるので長期記憶に移りやすく、とても勉強がしやすいです。臨床などのエピソードがあることで記憶の定着につながりやすく、思い出しやすい！</p>
<p>作業療法概論 (OT)</p>	<p>画像などを使用してイメージしやすくわかりやすい授業だった。話が明確でわかりやすかった。実習の CE の方などの考え方や実習についての話をしてもらい、実習に行く意味を知ることが出来ました。グループでの取り組みでの機会も多くあり、協調性を高めることができた。スライドも分かりやすか</p>

	ったので良かったです。グループで何かに取り組むことが多かったので能動的になれる授業だったと感じた。
臨床技能演習 (OT)	実技をしているときに質問をしたら親身になって教えてくださったり、している所をみて指導してくださった。話がとても聞きやすく、一つ一つ細かく教えてもらったので良かったです。臨床での様々な写真を提示して頂いたり、分かりやすい授業資料で教えて頂いた。アドバイス等からこんなやり方もあるんだと学びました。
精神医学 (PT・OT)	グループで話合う機会が多く、インプット・アウトプットで理解出来た。確認時間をたくさん設けてもらったので理解しやすかった。話し方や声が聞き取りやすく、頭に入りやすかった。小テストもあり自分がどのくらい出来ているかを知ることができ、定期テストに活かしたい。スライドも見やすくて勉強しやすく、授業が終わるごとに復習に取り組めたため、知識が定着したと思う。各疾患の特徴を先生の臨床経験などを例にわかりやすく解説していただきました。

授業評価総評

例年、久留米リハビリテーション学院では「授業評価」を実施しています。

令和2年度の授業評価との比較を行いました。なお、昨年度より新たな評価項目として「授業構成」を設けています。授業評価の詳細は昨年度のバナーを参照してください。

先ず理学療法学科ですが、令和2年度の総合評価が88.46ポイント、令和3年度の総合評価は89.14ポイントであり、総合で0.68ポイント上がりました。詳細を見ていくと「授業構成」では0.95ポイント、「授業の進め方」では1.70ポイント、「教員の伝え方」では0.84ポイント昨年を下回りましたが、「教員の関わり方」では0.82ポイント、「学生の授業へのモチベーション」では4.46ポイント上がりました。再度今までの講義を振り返り、同時に当学院の強みでもあるIT教材を用いた講義を来年度は更にパワーアップさせ、学生の学習意欲の向上を図ります。

次に作業療法学科ですが、令和2年度の総合評価が82.76ポイント、令和3年度の総合評価が86.89ポイントであり、総合で4.13ポイント上がりました。詳細を見ていくと「授業構成」では2.68ポイント、「授業の進め方」では2.18ポイント、「教員の伝え方」では1.26ポイント、「教員の関わり方」では2.66ポイント、「学生の授業へのモチベーション」では9.02ポイントと、すべての項目で昨年のポイントを上回りました。

両学科共に結果として昨年以上の評価をいただきましたが、慢心せず、より良い講義ができるように取り組んでいきたいと考えます。近年、学生の成績向上のために、居残り学習や早期からのグループ学習の導入など様々な取り組みを行っておりますが、やはり学習の原点は「予習をし、講義をしっかりと聞き、復習をすること」だと考えております。そのためにも、学生がいかに興味を持って講義に臨むかが重要であり、学生の自主性を導き出すよう講義を展開させていく必要性を感じております。

当学院では前・後期終了ごとに授業評価を行い、それに対する振り返りや改善への取り組みを行っています。
今回の結果を踏まえ、各教員には「講義実施に関する課題とその対応」を認識してもらい、より良い講義となるように次年度以降の講義に取り組んでもらいます。

令和4年2月吉日
専門学校 久留米リハビリテーション学院
教務部長 大坪 健一